

—— 老いてなお、表現は加速する ——

爆発する

超老芸術

のエネルギー



「老い」とは、枯れることではなく、あらゆる制約から解放されることかもしれません。本講演では、人生の晩年に至ってなお、制御不能なほどの表現衝動を爆発させる「超老芸術」の世界に光を当てます。専門的な美術教育の枠組みを軽々と飛び越え、スナックで多彩なカラクリ人形を独学で作り続けたり、自宅に色鮮やかな装飾を施したりする高齢者たち。彼らの創作は、もはや趣味の域を脱し、見る者の既成概念を激しく揺さぶります。これまでのフィールドワークから見えてきた、年齢を重ねるほどに鋭さを増していく表現者たちの実態。札幌みらい塾2026のステージで、衰えを「突破」へと変える、圧倒的な生命の奔流を体感してください。

講師
節野展正

アーツカウンシルしずおか
チーフプログラム・ディレクター

対談ゲスト
山岸奈津子

一般社団法人
SHIRAOI PROJECTS
代表理事

2026年
3月30日
月

開場

18:00

開演

18:30

スケジュール

- 18:30 ~ 20:00 講演
- 20:00 ~ 20:10 休憩
- 20:10 ~ 20:30 座談会 — 対談ゲスト
山岸奈津子さん
- 20:30 ~ 20:40 質疑応答
- 20:40 終了

会場

カナモトホール(札幌市民ホール)
2階会議室1-2
札幌市中央区北1条西1丁目

入場料

- 一般 1,500円
- ACF会員・学生・V-net会員 1,000円

ご予約・お問合せ

- ACF札幌芸術文化フォーラム
- <https://sapporoacf.net>
 - sapporoacf@gmail.com
 - 090-3110-6575 (有田)



— 老いてなお、表現は加速する —

爆発する

超老芸術

のエネルギー

櫛野展正

NOBUMASA KUSHINO

広島県出身。京都芸術大学大学院芸術研究科修士課程修了(MFA)。

2000年より知的障害者福祉施設で介護福祉士として勤務する傍ら、2012年から広島県福山市鞆の浦の「鞆の津ミュージアム」にてキュレーターを務める。2016年4月にアウトサイダー・アート専門スペース「クシノテラス」を開設し、独立。表現せずにはいられない人々に焦点を当て、全国各地で取材を行いながら、執筆や展覧会の企画・運営に携わる。

主な著書に『超老芸術』(ケンエレブックス)、『アウトサイド・ジャパン 日本のアウトサイダー・アート』(イースト・プレス)、『アウトサイドで生きている』(タバックス)など。

2021年より「アーツカウンシルしずおか」チーフプログラム・ディレクターに就任。2022年、総務省主催「令和3年度ふるさとづくり大賞」にて総務大臣賞を受賞。



講師

山岸奈津子

NATSUKO YAMAGISHI

一般社団法人 SHIRAOI PROJECTS 代表理事。

1980年生まれ、札幌出身。PRプランナー。大学卒業後、星野リゾート・トナムで企画・広報マネージャーを務め、勤続10年を機にフリーランス広報として独立。札幌国際芸術祭(2014、2024)、複合型フェス「Zonaps」など、さまざまな業種に携わる。地域おこし協力隊をきっかけに、2021年に白老町へ移住。一般社団法人を立ち上げ、地域活性化に向けたプロジェクト開発やアートプロジェクトに取り組みほか、2025年夏からは、白老町文化団体連絡協議会事務局長に就任し、地域の文化芸術振興の最前線で日々苦悩している。



対談ゲスト

ACF札幌芸術文化フォーラム とは

創造都市札幌の芸術文化の未来を拓こうと、2007年春に市民有志が立ち上げた団体。市民と芸術家そして行政、企業を結ぶネットワークを形成し、さまざまなイベントを実施し、情報を発信している。市民らの協働による芸術文化の溢れるまち作りを目標としている。